

台風19号の大雨による

令和元年10月18日
須賀川農業普及所

野菜類の冠水被害対策！



10月12日、13日に福島県を通過した台風19号によって、多くの農作物が冠水の被害に遭いました。野菜類が冠水した場合、早めに事後対策を実施しましょう。

★露地野菜やハウス野菜でも「収穫部位」が冠水した場合は、衛生的な観点から、**廃棄処分**となります。

～ ブロッコリー、白菜、キャベツ、低段に着果しているきゅうり、トマトなど ～

河川や用水が氾濫した場合、冠水した水に下水等の汚水が含まれる恐れがあります。収穫部位を洗って泥を落とすとしても、見えない大腸菌などが付着している場合があるので、**冠水した野菜類は廃棄処分**としてください。

★冠水した施設野菜は、**根が酸欠状態**です！

～ きゅうり（抑制、雨除け、防虫ネット）、トマト、イチゴなど ～

ほ場が冠水したことにより、根の回りに汚れた水がたまり、根腐れを起こす可能性があります！

速やかにほ場から排水のうえ、**根の回りに酸素を送り込み**、早めに酸欠状態から脱出してください。

①マルチがはがせる場合、株元までマルチを寄せて土壌を乾かしてください。

②M.O.X.100倍を（きゅうり1.0リットル/株）かん注してください。
稲刈りや冠水した住宅の片付け等で作業が困難な場合は、300倍液（いちご0.3リットル/m²）をかん水チューブで流すだけでも早めに行ってください。

③上記②が困難な場合、通路にネハリエース20～30kg/10aを散布してください。

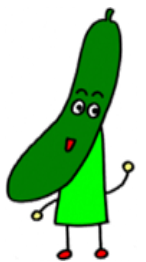
★冠水したほ場では、**病原菌の拡大に注意**！

植物体が冠水した場合、土壌病害などの病原菌が冠水した水に乗って、ほ場全体に広がっている場合があります。

ほ場に入れるようになったら、早めに殺菌剤による薬剤散布をしてください。

冠水部分及び付着した泥を洗い流すように、倍率は登録の範囲内で薄めに薬量をたっぷり散布してください。

品目	発生が懸念される病害名	主な薬剤名
きゅうり	つる枯病、疫病、灰色かび病 等	トップジンM水和剤、ベンレート水和剤、ロブラール水和剤 等
トマト	疫病、かいよう病、灰色かび病 等	カスミンボルドー、ダコニール1000、ベルコート水和剤 等
いちご	炭疽病、灰色かび病 等	アミスター20フロアブル（ミツバチ影響0日） ベルコート水和剤（ミツバチ影響0日） 等



★台風被害を受けた農作物の栽培管理に関するご相談は、
須賀川農業普及所（電話0248-75-2181）まで。